



新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、さわやかな新年をお過ごしのこととお喜び申し上げます。昨年は会の活動に対し、あたたかなご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。10月の「ふるさと野田村の特産品をたらふく食べる会」には、村の復興ボランティアに参加した方や涼海の丘ワイナリーサポート会員の方々に多数参加いただき、会を盛り上げていただきました。役員一同、心から感謝申し上げます。また、岩手県に関しては、「広げよう感動。伝えよう感謝。2016希望郷いわて国体」が11月1日から、46年ぶりに開催されました。村の総合運動公園「ライジングサンスタジアム」では、軟式野球競技会が行われ、全国に野田村の名を知らしめました。



ライジングサンスタジアム

を贈るとともに、私は県人連合会の組織部長として、2泊3日の「いわて国体応援と3・

11被災地の復興視察ツアー」を企画、実施しました。北上市での総合開会式には天皇・皇后陛下のご臨席の下、私達は30名限定の招待を受け、応援参加して参りました。オープンイベントでは、県内市町村で採火された炬火がグラウンドの四方から入場し、野田村からは新山地区にお住まいの小田孝一さんが堂々と炬火を掲げて入場しました。感動のいわて国体を通して、岩手県から全国へ、3・11復興支援に対する感謝の心が力強くかつ大きく発信されたことと思います。さて、今年では会設立30周年の1年前の年になります。節目の年に向けての準備の年になりますので、皆様のご協力をよろし



くお願いいたします。野田村の順調な発展と会員皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新春の挨拶いたします。

野田はまなす会の皆さん、新年明けましておめでとうございませう。野田中学校の校長をしております菊地と申します。私は旧三陸町の生まれですが、妻が野田村の出身なので、一村民としても村にお世話になっているところなんです。六年前の大震災津波では自宅を流され、辛く苦しい経験もしましたが、さまざまな方々からのご支援をいただき、一年半前に新町に新居を再建することができました。今後も微力ではありますが、村のために尽力していきたいと思っています。さて、現在の野田中学校の全校生徒は98名。部活動は野球部、バレー部、男女ソフトテニス部、柔道部、剣道部、吹奏楽部の6つの部が活動しております。

最近では、野球部と柔道部の活躍が目覚ましく、野球部は昨年度の県大会で優勝し、東北大会に出場しました。今年度の地区新人戦でも優勝し、勢いがあります。柔道部は、今年度の県新人戦で団体3位、個人戦では優勝1名、準優勝が2名でした。また、バレー部やソフトテニス部、吹奏楽部も県大会に出場するなど、部活動の盛んな学校として頑張っています。

学校生活では、「野田村の太陽になろう」を合言葉に、震災に負けずに頑張っている自分たちの姿を通して、村や村民を元気にすることができるよう、野田中ソーランや創作太鼓、合唱活動などに取り組み、体育祭や文化祭、村のお祭りなど、さまざまな機会に発表していま

す。少しずつではありますが、見ている人が笑顔になれるような充実した内容に近づいてきていると感じています。

また、震災後の本校のミッシヨンは何よりも村や国の将来を担うたくましく心豊かな人材を育てることだと捉え、各分野の「本物」の方々に来校していただき、貴重なお話や指導をしていただきながら教育内容が充実するように工夫しているところで

す。今後も皆さまのように、日本各地で活躍できる人材を育てることができるよう、野田中学校の歴史や伝統を引き継ぎ、さらに躍進・躍動する野田中を目指して努力して参りたいと思っています。これからも会員の皆さまのご支援とご協力をよろしく

お願いいたします。



大鳥居前で堂々披露した野田中ソーラン

【追伸】 校庭にあった仮設住宅が、全て撤去されました。校庭での活動ができるようになるのは今年の夏以降の予定です。

会員の声

集団就職で上京して



種綿 勇
横倉出身
野田中昭和32年卒

昭和32年3月25日は、野田中学校を卒業して、集団就職で村を発った日です。この日は私の記憶から消えることのない1日です。この頃は中学校を卒業しても、野田地区には就職先がなく、特に農家の二男、三男は野田に残ることもできず途方に暮れていました。ただ、東京などでは若い労働者が不足していました。そこで仕事のない地方労働者を労働者不足で困っている東京などに就職させようと計画されたのが「集団就職」でした。私が上京したのはその計画のちょうど3年目でした。

ング子会社のラジオ部品を作っている光洋電気に入りました。倒産のため4年で退職しました。止む無く、アルバイトを転々としていました。その間、家族の支援で池袋のテレビ技術学校という専門学校に2年通いました。

分析機械販売会社のヤマト科学(株)に2年いて、25歳の時シャープ(株)に入社して65歳まで勤めました。ここでは、カラーテレビの修理、コピー機の調整、修理など埼玉県内を中心に仕事をしていました。

私は、家に経済的なゆとりがなかったので高等学校には行けませんでしたが、向学心もあり、仕事上も数学が必要でしたので、57歳で通信制の東海大学付属望星高校に入学し、59歳で卒業しました。今までに、計量器技能検定・ボイラー技師・電気工事士・無線従事者2級等々12の資格を取ることができました。

ふるさと野田村から集団就職で上京して60年、苦しくつらいことを思い出せば、長かったようにも思うし、数多くあった楽しかったことを思い出せばあつという間にここまで来たようにも思うし、複雑な心境です。ただ、どんな時でも思い出すのは、今は亡き親と育った横倉のこと、野田村のことでした。

悠然として立つ和佐羅比山、濃緑の樹林、きらきら光る小川、水車小屋、あの小道、山道、トウモロコシ畑、春の山菜、秋の栗等々。苦しい時には励まされ、楽しく順調な時には戒められ、則を越えずに幸せに今日まで来れたのはふるさとのおかげと、いつも感謝しています。

野田はまなす会が設立されて間もなく30年、3・11の未曾有の大災害に見舞われて6年、官民一体の努力で村が復興されつつあります。是非とも蘇った村の姿を、はまなす会会員みんなで見て回りたいと熱望しております。

終わりに、村の完全復興とはまなす会の益々の発展を衷心よりお祈り申し上げます。

交流の輪を広げ、 野田の特産品を宣伝



山根正信
横町出身・
野田中昭和40年卒

平成28年10月9日に、恒例事業「野田はまなす会日帰りレク」が、千葉県松戸市の「こもれ陽の森バーベキュー場」で実施されました。今回は、野田村で生産された特産品を食べて会員相互の交流の輪を広げ、野田の特産品のすばらしさを広く宣伝・村の生産者に寄与したいという思いから企画したものです。

食材の南部福来豚・荒海ホタテ・鮭・新鮮な野菜などダンボール6箱分は、全て村から取り寄せました。

当日は朝からあいにくの雨でしたが、会員ら総勢32名に参加いただき、賑やかかつ楽しく親睦を深めることができました。

参加者からワインや日本酒の

差し入れをいただきながら、ふるさと野田村の特産品を堪能。若い人の中には、ホタテ、肉、

ホタテ、肉…と荒海ホタテ13枚、福来豚をたくさん食べた猛者



調理を通じて親睦も深まりました

も。飲み食べほるどに親睦も深まりチャ

楽しい時間はあっという間に過ぎ去るもので、午後3時には山ほどあった食材と飲み物を平らげ、会はお開きとなりました。皆さんの近況を看に、健康と平穏を確認する楽しい会となりました。



話しが尽きない、楽しいひととき

ンチャン焼きを作る人や豆腐田菜を焼く人など、参加者全員が好きな食

参加者全員が幸せな笑顔でいっぱいでした。昼には雨も上がり、楽しい時間はあっという間に過ぎ去るもので、午後3時には山ほどあった食材と飲み物を平らげ、会はお開きとなりました。皆さんの近況を看に、健康と平穏を確認する楽しい会となりました。

友協団体「東京様似会」との交流 第15回総会および 懇親の集いに 参加して

業・文化などの親善交流はさらに盛んになり、平成10年10月10日には村と様似町は友好町村を締結。そうした経緯から、4年前から関東圏にあるふるさと会も交流を開始。平成28年度の野田はまなす会総会・ふるさと交流会にも東京様似会から橋爪会長、鳥居事務局長が出席くださいました。

参加者全員が幸せな笑顔でいっぱいでした。昼には雨も上がり、楽しい時間はあっという間に過ぎ去るもので、午後3時には山ほどあった食材と飲み物を平らげ、会はお開きとなりました。皆さんの近況を看に、健康と平穏を確認する楽しい会となりました。

東京様似会の総会・懇親の集いは、町長・議長始め100名程の参加者で大変盛会でした。お楽しみ抽選会には景品を提供する地元商店や会社が多く大変盛り上がり 있었습니다。私達2人にもサケの新巻が1本ずつ当たり、ビックリしました。

東京様似会の会運営や雰囲気作りは、和やかで楽しい懇親となる工夫がなされていて、大変参考になりました。本会にも

第3回役員会

1月7日、東京都の霞が関ビル35階で野田はまなす会第3回役員会(出席者13名)が行われ、下記のとおり承認されました。



役員会出席者

- 日帰りレクリエーション
 - 参加者数…大人32名
 - 雨天ではあったが、事務局の計らいで村の特産品を味わえ、大盛会であった。
- 会設立30周年記念事業実行委員会の発足
 - はまなす会の全役員で組織する。実行委員への希望者があれば選考の上、入会。
 - 実行委員会役員
 - 実行委員長・桜庭昌吾
 - 副委員長・米田忠男、坂本悟、山根正信
 - 庶務・久慈士郎、志村良子
 - 正副実行委員長と庶務6名で常任委員会を組織。実施原案と必要事項を作成。
- 平成29年度総会及びふるさと交流会
 - 日時・会場
 - 6月18日(日)午後1時～
 - 「東海大学校友会館」
 - (霞が関ビル35階)
 - アトラクション等については、次回協議。
- その他
 - 次回役員会
 - 4月9日(日)午前11時～
 - 会場 未定
 - 会設立30周年記念事業実行委員会・初代会長佐藤匡宏氏の合同写真展鑑賞
 - 2月12日(日)



坂下一幸様似町長と橋爪会長

野田に帰省して

志村良子

北区出身・
野田中平成2年卒

12月29日から、1年ぶりに野田村に帰省しました。往路復路ともに新幹線の指定席は満席で立ち席の利用もあり、二戸ー久慈間のバスもまた補助席を利用するほどの混雑ぶりでした。滞在期間中は、例年以上に天候が穏やかで、過ごしやすかったです。

私は毎年帰省しているのですが、今回は昨年までといくつか違う点がありました。

まず、旧玉川鉱山に涼海の丘ワイナリーができておりました。村でワインを作ることは以前までなら中々結びつかないものでしたが、ぜひ村の新たな特産として今後定着してほしいところです。

続いて、私が通った野田小学校の通学路です。南浜地区の丘の上にある学校までの坂道の道幅は広く整備され、新たに歩道ができ、児童がより安全に通学できるようになっていました。また、野田中学校の校庭から

は仮設住宅が全て撤去され、更地になっていました。校庭にはまだ大きい石が残っていました。近く中学生たちに校庭が戻ってくるようです。野球部の部活動はもちろん、体育祭などは本来の広い校庭で汗を流してほしいです。

久慈工業高校側の新町には新しい家が建ち並んでおり、野田中学校の仮設住宅で過ごした方々が主に住んでいるようです。新設の十府ヶ浦公園もだいぶ整備が進み、公園花壇にも一部種が植えられており、開花が待ち遠しいです。一方で、新しい道路の建設や建築資材の運搬のためか、工事車両の大型車が

日常的に往来しているようです。バイオマス発電も稼働し、大型のダンプカーが発電資材の運搬をしています。街の通りにいくつもの看板があり、工事車両はゆっくり走るように促していました。



野田小学校の児童が花壇の花を植えました

往來の多い工事車両によって、日常的な揺れがあるならば、ストレスを感じることでしょう。また、時速20キロメートルのトル未満の走行だとしても、その工事車両の後続車になった場合はイライラすることもあるかもしれません。街が新しくなるためには、必然的に大きな工事が必要となるのですが、早く落ち着けばいいな、と思いついた。新山の築港から和佐羅比山方面を眺めた際に海特有の磯の香りに触れ、懐かしい気持ちになりました。街の様子が新しく変化していく様子に、寂しいようなワクワクするような不思議な気持ちで散策しましたが、懐かしく感じる場所もしつかり残っています。

みなさんも帰省した際には、村を散策してみてください。

あとがき

◆ 昨年は国内外で、さまざまな動きがありました。日本と関係が深いアメリカや韓国、フィリピンの大統領の言動、ロシア、中国、北朝鮮の動向など、今年の日本の政治や経済、社会がどうなることか気がかりです。

◆ 上野で開催されているラスコー展で、2万年前のクロマニヨン人が描いた動物の壁画を見ました。この絵は、確か中学校の教科書に載っていました。今の世の中も、生きている人間を中心にもつとのんびり生活できるといいなと思いました。

◆ 去る8月30日の台風10号、野田でも被害甚大でした。下安家のさけ・ますふ化場が土砂で壊滅的被害。4年後、野田の川に鮭が遡上してくるか心配です。

◆ 岩手県オリジナル水稲「岩手118号」の名称・ロゴマーク「金色の風」が発表されました。粘りがあり、冷えてもおいしいごはんでした。岩手県産米として扱がれればいいですが。

◆ 今年は野田はまなす会の設立30周年の1年前の年。皆さんが希望する記念事業等のアイデアを是非本部へご提案ください。

(S・S)

平成29年度 野田はまなす会 総会及びふるさと交流会開催の予告

野田はまなす会総会及びふるさと交流会を、下記により開催します。

年一回のふるさと交流会。野田村出身者や関係者、どなたでも参加できますので、友人・知人を誘って是非ご参加ください。

日時 6月18日(日)午後1時～

会場 東海大学校友会館(霞が関ビル35階)
(首相官邸と国会議事堂近く)



平成28年のふるさと交流会の様子

最寄り駅

地下鉄 銀座線「虎ノ門」出口5番・11番
千代田線・日比谷線:「霞が関」出口13番
丸の内線:「霞が関」出口A4

会費 交流会費6,000円・年会費2,000円

■問い合わせ

野田はまなす会事務局(野田村役場総務課)
0194-78-2111
野田はまなす会会長 桜庭 昌吾
090-9002-4356